

324号  
2025年  
9月

# 日赤みやぎ



赤十字フェスティバルを  
開催しました！

8月4日(月)、赤十字の活動や役割を知ってもらい、子どもたちが夏休みの自由研究の題材とできるよう、イオンモール新利府南館1階 ライブスクエアを会場に「赤十字フェスティバル」を開催しました。

日本赤十字社の9つの事業を柱とし、健康・睡眠や献血された血液が患者さんに届くまでの流れについて学べるブース、一次救命処置体験や妊婦体験ブースを展開したり、実際に災害救護活動で使用された資器材などを展示しました。

参加した子どもたちは興味深そうに話を聞き、真剣に学んでいました。

# 活動資金と義援金 何が違うの?



「救いたい」をカタチにする。  
ニーズに合った支援を届けるために

赤十字は、皆さまからの寄付によって支えられております。  
しかし、活動資金と義援金の違いが分かりにくいという声をいただきます。  
そこで、今回は活動資金・義援金の違いについてご紹介します。

## 活動資金とは?

いのちと健康、尊厳を守るため、  
赤十字の活動を支援するお金。

STEP 1

STEP 2

災害時の医療救護・こころのケア



寄付者



防災などの教育

日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

各種講習

STEP 3



様々な方々を支援

## 義援金とは?

被災された方々へ、お悔やみや応援の  
気持ちを込めて贈るお金。

STEP 1

STEP 2

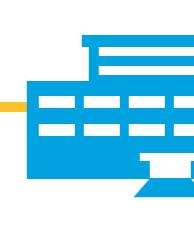
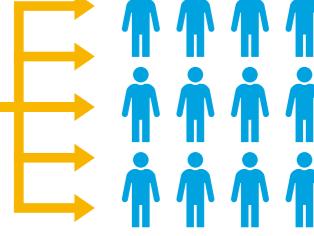
STEP 3

STEP 4

STEP 5



寄付者

義援金受付団体  
(自治体・  
日本赤十字社等)義援金配分委員会  
(被害状況に応じて  
配分額の決定)市区町村  
(被害状況の把握  
義援金の配分)

被災された方々

### ◆ みなさまのご支援により日本赤十字社が速やかにサービスで支援 ◆

被災された方に  
届くまで

すぐに届く

被災された方のニーズに対して即時に様々な支援を行います。災害時の緊急支援のみならず、災害に備えるための訓練や、復興支援等にも取り組みます。

1  
速さ被災された方に  
届くまで

時間がかかる

被災された方の数などの情報を正確に把握した後に  
配分されます。

現地での活動

使われる

医療救護やこころのケアなど、被災された方々への支援を行います。平時は AED 講習や防災教育など様々な人道支援活動を行います。

2  
使い道

現地での活動

使われない

義援金は被災された方の当面の生活を支援するため  
に配分されるもので、日本赤十字社が行う緊急支援  
や復興事業には使われません。

公平な支援

最も救いの手を求めて  
いる方から支援

国籍・人種・宗教・思想などで差別せず、ニーズと  
緊急性の高い方から支援します。

3  
公平さ

公平な支援

被災された方に  
公平に配分

被災された方の被害状況に応じて公平に配分されます。

- ▶ 海外救援金は、緊急時に日本赤十字社が受付を行い、国際赤十字を通じて海外で苦しむ方々を支援するお金です。
- ▶ 活動資金（海外救援金含む）のご協力には、日本赤十字社及び国からの表彰制度があります。

詳しくは、日本赤十字社（本社）もしくは当支部にお問い合わせください。

赤十字の活動には、国や地方自治体からの補助金はありません。

赤十字の人道的な活動に賛同していただいた皆様からお寄せいただく  
活動資金により成り立っております。

活動を計画的、継続的に行うためには毎年安定した資金が必要です。

皆様の温かいご協力をお願いいたします。



ご協力方法はこちらから⇒  
<https://www.jrc.or.jp/contribute/>

### 活動資金の使い道（一例）

#### 国内災害救護活動



平時には救護訓練や  
救援物資の整備など、  
災害に対応できる体制  
を整え、災害時には現  
地へ駆けつけ救護活  
動を実施します。

#### 救急法などの普及



身近な人を救うため  
の知識と技術の普及  
を行います。

# 宮城県支部のトピックス



## 登米市立津山中学校で防災セミナーを開催しました

6月20日(金)、登米市津山地区の防災研修会にて防災セミナーを実施しました。

津山中学校の生徒へ災害エスノグラフィー(被災者の体験談を読み、災害を追体験し被災の具体的なイメージを理解するカリキュラム)を実施し、水害を具体的にイメージした上で、心に残った部分や自助・共助にあたる部分をグループで話し合い、最後にはグループ毎に「今からはじめる備え」を発表してもらいました。

また、本研修会には、津山地区の自主防災組織連絡協議会の会員の方々もセミナーを見学する形で参加し、地域のつながりの場になっている様子も伺えました。

防災について考えるきっかけになれば幸いです。



◀グループで意見交換



▲「今からはじめる備え」を発表

## 全国赤十字大会に参会しました

5月13日(火)、東京都渋谷区の明治神宮会館で令和7年全国赤十字大会が開催され、全国から約1,400人、宮城県支部からは有功章等受章者や有功会員、奉仕団員など26人が参画しました。

日本赤十字社名誉総裁皇后陛下、名誉副総裁である秋篠宮皇嗣妃殿下、常陸宮妃華子殿下、寛仁親王妃信子殿下、高円宮妃久子殿下のご臨席を賜り、赤十字活動に功績のあった個人や団体に対し有功章の授与などが行われたほか、令和6年度の実践活動報告が行われました。

赤十字の活動は、寄付者やボランティアの方々をはじめ、多くの支援者の皆様によって支えられております。

引き続き温かいご支援をよろしくお願ひいたします。



▲参会者での集合写真

## 県内の日赤担当者へ テントなど救護資器材等の使用方法を伝達

5月28日(水)、地区分区(主に市区町村単位で設置された日本赤十字社の事業を推進する組織。市町村などが担う。)担当者向けに各地区分区へ配備している救護資器材等の使用方法などについて理解向上を図るために、救護資器材等使用研修会を実施しました。

当日は8地区分区から13名が参加し、屋形テント・ワンタッチテント・段ボールベッドを実際に組み立てたり、避難所で活用される簡易トイレなどの資器材を紹介したりするプログラムで実施しました。

参加者アンケートには、「テントやベッドなど実際に触れることができ、今後の地域の方への説明などに活用ていきたい。」などの意見が寄せられ、実用性のある研修会となりました。

皆さまからお寄せいただいた活動資金は、このような資器材等の整備にも活用させていただいております。



◀段ボールベッドを組み立て



▲ワンタッチテントを展張

## 仙台赤十字病院

## 宮城県内施設のトピックス



## 東北ブロック赤十字病院球技大会を開催しました!

5月24日(土)、今年は当院が開催当番となり、仙台で東北ブロック赤十字病院球技大会を開催しました。東北の赤十字病院6施設(八戸、秋田、盛岡、石巻、福島、仙台)から、全体で300名以上(うち当院から92名)が選手やスタッフとして参加しました。軟式野球、女子バレーボール、フットサル、卓球、バスケットボール、硬式テニスの6競技が行われ、大変盛り上がりました。中でもフットサルは当院が優勝。このように、赤十字病院では施設見学や事務研究会だけでなく、業務外でも盛んに交流を行っています。



▲フットサルの試合風景

## 令和7年度救護班任命式を挙行

4月23日(水)に令和7年度救護班任命式を挙行しました。救護班員の代表として、医師、看護師長、看護師、主事の4名に対し、宮城県支部事務局長より辞令が手渡されました。また、挨拶では石橋悟院長より「皆さんのが安全かつ安心して活動できるよう環境を整える。しっかり活動てきてほしい。」と激励の言葉が贈られました。

当院では、自然災害や大規模事故での傷病者に対応できるよう「救護班」を常設しています。今年2月26日に発生した岩手県大船渡市での大規模災害へも、救護班の職員5名を派遣しました。その他にも石巻川開き祭りや松島基地航空祭、ツールド東北など地域に密着したイベントでも多数活動を行っております。

今年度は、初動班3班、救護班6班、原子力災害医療派遣チーム等、総勢258名(予備要員含む)体制で編成しており、有事の際には日赤救護班としての使命を果たせるよう、訓練や研修などを実施して参ります。



▲救護班任命式での集合写真

## 宮城県赤十字血液センター

## 「けんけつKidsサマースクール2025」を開催しました

宮城県赤十字血液センターでは、例年、夏休み期間に小学校高学年を対象に「けんけつKidsサマースクール」を開催しています。同イベントは血液の大切さとはたらきを学び、献血を身近に感じてもらうことを目的に、血液保管庫や献血バス、献血搬送車の見学などを実施しています。

今年は、7月26日(土)・27日(日)の2日間で計4回実施し、計72名の小学生が参加してくれました。

参加児童の中には「16歳になったら多くの人の命を救えるように献血したいと思った。」など心強い感想をいただきました。

来年以降も同イベントの実施を予定しています。ご興味のある方は7月上旬に当センターHP等にて情報を公開しておりますのでご確認下さい。



▲献血バス見学の様子



▲血液製剤の見学

# 世界救急法の日(ワールド・ファーストエイド・デー)イベントを実施します!

赤十字では9月の第2土曜日を「ワールド・ファーストエイド・デー／世界救急法の日」と位置づけ、毎年県内のイオンモールを会場に一次救命処置体験イベントを開催しています。

本イベントを通じて、身近な人や大切な人の命を救う知識や技術を身に付けることができます。

おひとりでも、お子様とご一緒に体験できますので、お近くにお越しの際にはぜひご体験ください。なお、事前予約及び参加費は不要です。

※体験で使用する人形の数が限られているため、満員の場合は少々お待ちいただく可能性があります。

【イオンモール新利府 北館2階 イベントコート】・9月13日(土) 10:00～16:00

【イオンモール石巻 1階 緑の広場】・9月15日(月・祝) 10:00～16:00

【問合せ先】 日本赤十字社宮城県支部事業推進課 講習・地域事業推進係 TEL:022-725-7530

## ハートラちゃんグッズ詰め合わせを10名にプレゼント!

ハートラちゃんぬいぐるみ(小)&宮城県支部特製エコバッグ&宮城県支部特製マスキングテープを10名様に差し上げます。

応募フォーム・メール・FAXから応募を受け付けます。

\*令和7年10月3日(金)必着

当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

① 住所・氏名・年齢・電話番号

② 本紙の入手場所・方法

③ 日赤みやぎの感想

④ 取り上げてほしいテーマ(赤十字に関わること)

⑤ 自由記述(任意)

応募フォーム:<https://forms.office.com/r/54u0hs6JLD>

メール:info@miyagi.jrc.or.jp

FAX:022-725-5150 日本赤十字社宮城県支部 総務課「日赤みやぎ担当」あて



皆さんからの  
ご応募  
待ってるガーラ !



## お役立ち情報

## 非常食かんたんレシピ



### \*アネちゃんの\* かんたんごはん帳 Vol.34 粉末乳と袋で作る簡単プリン

アネ(牧野純子)

イラストレーター・FCAJ認定フードコーディネーター

仙台市在住 赤十字防災ボランティア

出版社、CM制作会社を経てフリーランスとして活動中

#### \*材料(1袋1人分)

A 水…100ml

コーヒー用粉末乳製品…大さじ2

卵…1個 砂糖…大さじ1～1.5(好みで)

バニラオイルorエッセンス(あれば)…少々

\*水+粉末乳製品を牛乳100mlに置き換えるOK

砂糖を練乳大さじ1.5～2に置き換えるOK

#### \*作り方

- Aを耐熱ポリ袋に入れ、袋の外からよく揉む。
- 1の袋の空気を抜いて、上方で結ぶ。

\*ポリ袋はミニサイズだとより上手に作れます

- 鍋にたっぷりの水と2を入れ、再沸騰したら蓋をして火を止めて15分おく。

\*ポリ袋破損防止のため鍋底にザルや耐熱皿を入れる

\*季節や鍋の大きさや保温の具合によるので、時間は

目安にして、固まつていなければ再度数分加熱する

- 3の袋を取り出して、ボウルなどに入れ、水で冷やして粗熱を取り、可能であれば冷蔵庫で冷やす。

- 4を器に盛り付ける。

\*災害時は、袋のままスプーンでいただきます



\*黒い粒はバニラです \*写真は2袋分のプリンです

